

取り扱い説明書をご用意の上、参照しながらお読み下さい。このシートは説明書と一緒に保存してください。

### 1:リピーターシフト任意設定の操作

- \* 説明書P.68「セットモード」を参照の上セットモードに入ります。＜レピーター設定＞メニューを選択して、ダイヤルを押し下げてサブメニューのオートレピーター設定を選びます。メインダイヤル(下)を回して「オフ」を表示させてから、PTTを押すなどしてセットモードを終了します。
  - \* オートレピーターが動作しているとレピーターバンド(439～40,1290～93MHz)の範囲内では任意のトーンやシフトの設定は適用されません。画面の表示では区別できませんのでご注意ください。
  - \* 【FUNC】キーを押してFが画面に表示されている状態で【MAIN/A】キーを押すと「シフト - 5.000」のような表示が出ます。メインダイヤル(上)を回して任意のシフト幅を設定します。【FUNC】キーを押しながら回すと1MHzステップで変更できます。
  - \* この状態でMAIN/A キーを押すと、押すごとにシフト方向を - + OFFの順に変えられます。
  - \* シフト幅と方向が選択できたら、PTTを押すなどして設定を確定し、運用モードに戻ります。
- 【注意】 この変更により、併用が煩わしくなったクイック・レピーター機能は削除させていただきました。

### 2:同時送受信の禁止/許可 (禁止にすると送信中はサブバンド側の受信音が出ません)

- \* 説明書P.68「セットモード」を参照の上セットモードに入ります。＜送信設定メニュー＞を選択して、ダイヤルを押し下げてサブメニューの同時送受信設定を選びます。ダイヤル(下)を回して禁止、又は許可を選んでからPTTを押すなどして設定を確定し、運用モードに戻ります。初期値は許可、です。

【注意】 イヤホンマイクを使わず同時送受信を行うとき、サブバンドで受信をするとその音声はマイクを伝わり送信中のメインバンドの変調に重なって送信されるため、相手局で受信信号がうまく聴き取れなくなることがあります。このため、本体だけを使って運用をするときはこの設定を**禁止**にされることをお勧めします。尚、禁止状態では送信中に「同時送受信禁止」と表示されます。通常「受信停止中」と表示される場合でも、この設定が有効な間は「同時送受信禁止」表示になりますが、異常ではありません。

### 3:オープニングメッセージの設定 (起動時のアニメーションの代わりに任意の文字が表示できます)

- \* 説明書P.68「セットモード」を参照の上、セットモードに入ります。
- 【表示】＜表示設定メニュー＞を選択して、ダイヤルを押し下げてサブメニューのオープニング(静止)設定を選びます。登録後の文字表示方法は静止と、文字が上から下に流れるスライドの2つが選べます。サブダイヤル(左下)を回して静止かスライドかを選びます。
- 【登録】サブダイヤル(右下)を回すと入力したい文字の位置を表示するカーソルが移動しますので、説明書P.44のメモリーネーム機能【4】以降の説明に従い、同様の操作で任意の文字を入力してください。漢字など全角で最大8文字、半角で16文字まで登録できます。文字を1つでも入力すると、それがオープニング画面に反映されます。何も登録されていないときは初期設定のアニメーションが表示されます。PTTを押すなどして設定を確定し、運用モードに戻ります。初期値は静止、です。

以上